

サーモテック 2022 開催報告

2022年6月1日～3日の3日間、サーモテック 2022 第8回国際工業炉・関連機器展が東京ビッグサイト南館1・2ホールで開催されました。今回の展示会のテーマは「環境・熱・未来 ～サステナブル社会へ熱技術の挑戦～」であり、カーボンニュートラル・脱炭素社会実現・デジタルトランスフォーメーション(DX)など、新たな時代を拓く熱処理及びその周辺技術が一堂に会した展示会となりました。

主催団体である日本工業炉協会高橋会長(当協会理事)のテープカット(写真1)で開会したサーモテック 2022は徹底した新型コロナウイルス感染予防対策の下、国内出展者:138社、海外出展者:1社に加えて、アカデミックコーナーには10の大学より熱処理に関連する興味深い研究成果が紹介され、産学が一体となった盛大な展示会となりました(写真2)。3日間の入場者を2022年度/2017年度で比較すると、6/1:2,209名/3,000名、6/2:3,185名/3,613名、6/3:3,727名/4,440名、三日間合計:9,121名/11,053名でした(サーモテック事務局発表)。コロナ禍の制約された状況では想定以上の参加者であったと言えます。

(一社)熱処理技術協会は(一社)金属熱処理工業会と協力して「熱処理相談コーナー」を開設しました(写真3)。一般熱処理・浸炭熱処理・高周波熱処理の熱処理種別毎に午前/午後各2名づつ当該分野の専門家を配して来場者の熱処理に関する様々な質問にお答えしました(写真4)。

当協会としては、新たな維持会員獲得および熱処理誌の記事投稿および広告掲載のプロモーションを目的として、奥宮会長、渡邊副会長はじめ事務局メンバーが分担して精力的に企業展示ブースを回って、協会のアクティビティー紹介を積極的に行いました。またアカデミックコーナーでは、研究成果を積極的に「熱処理」誌に投稿いただく事を勧めました。



写真 1



写真 2



写真 3

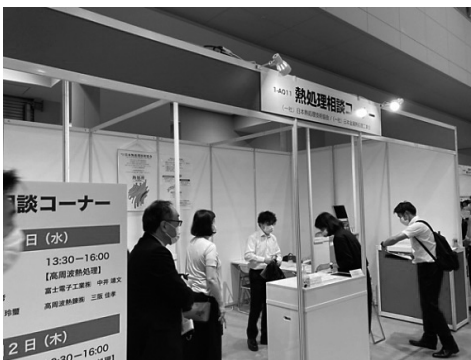


写真 4